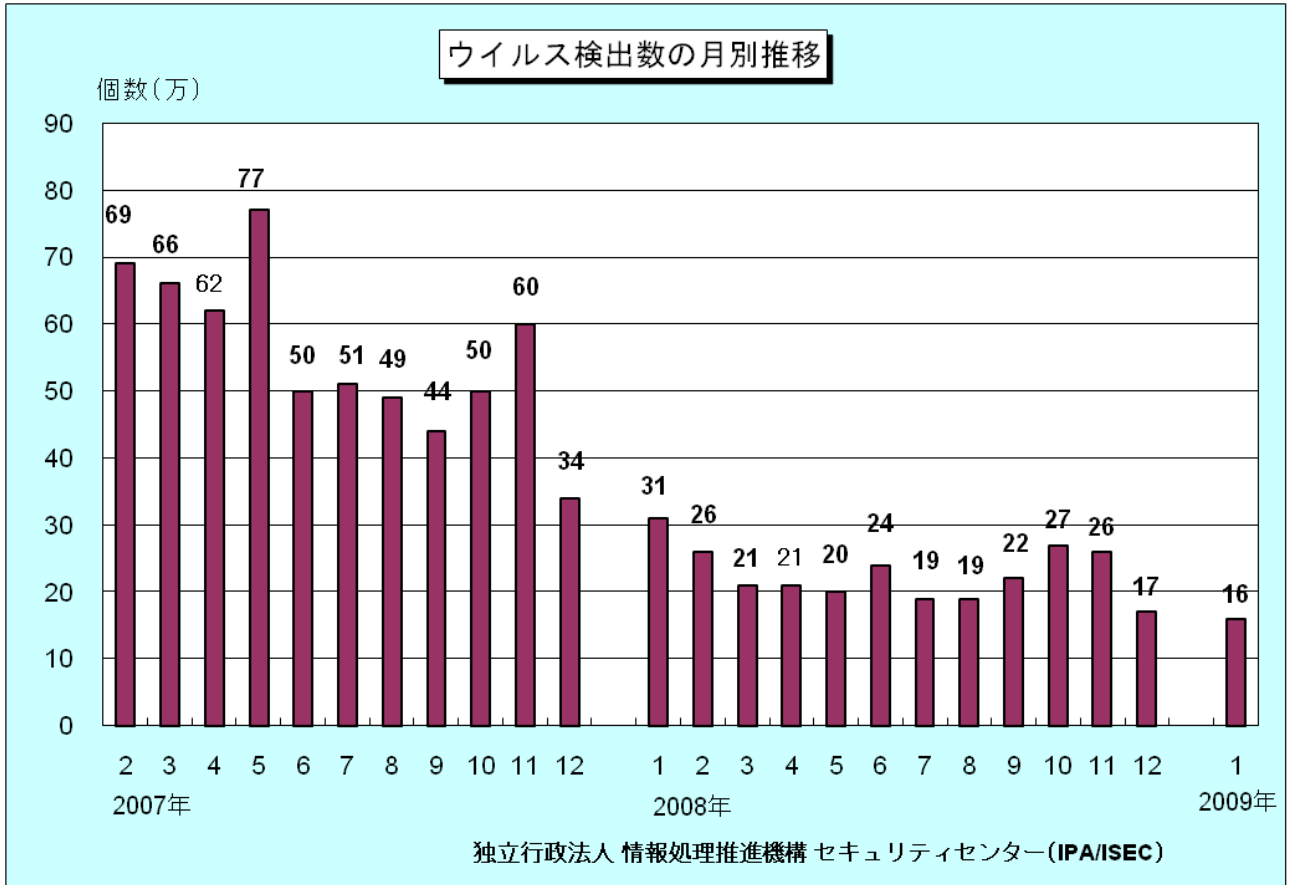
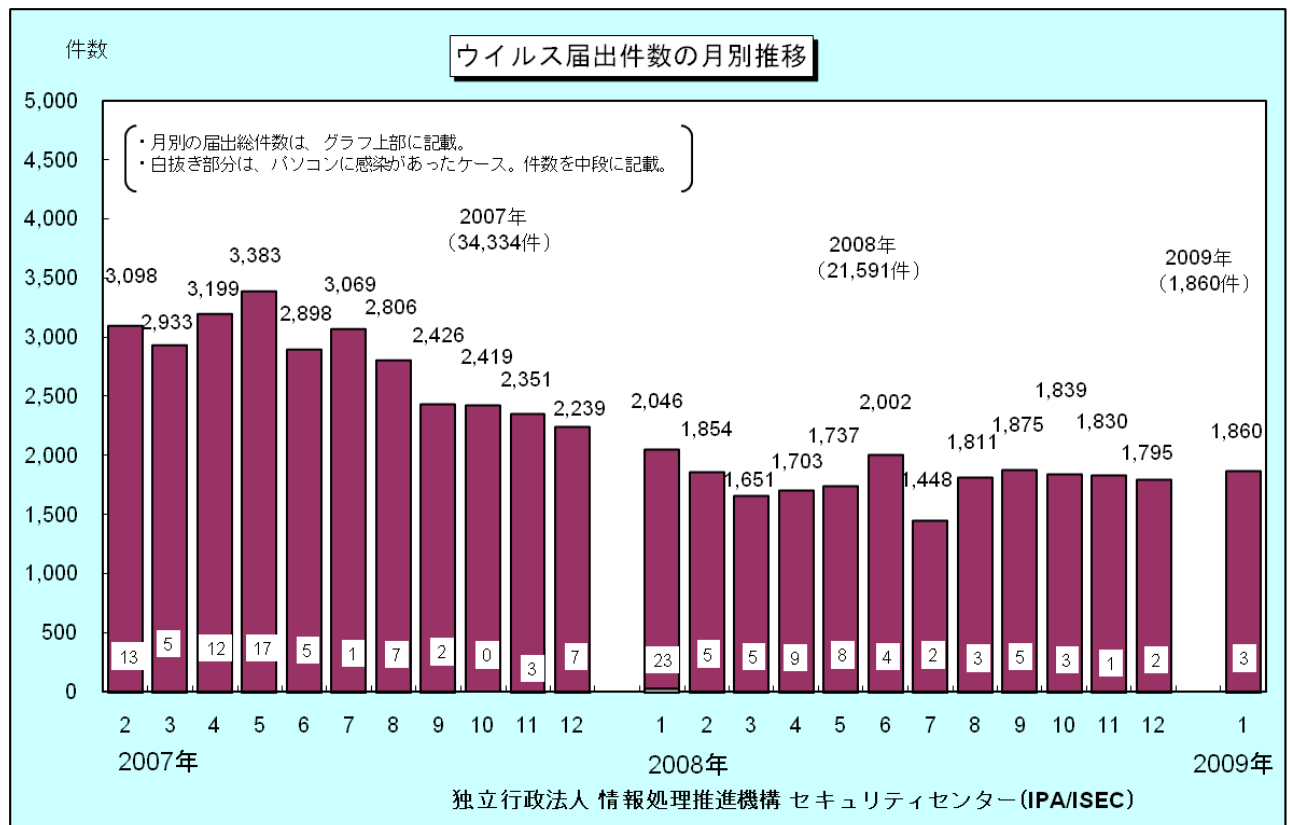


コンピュータウイルスの届出状況 [2009年1月分] について

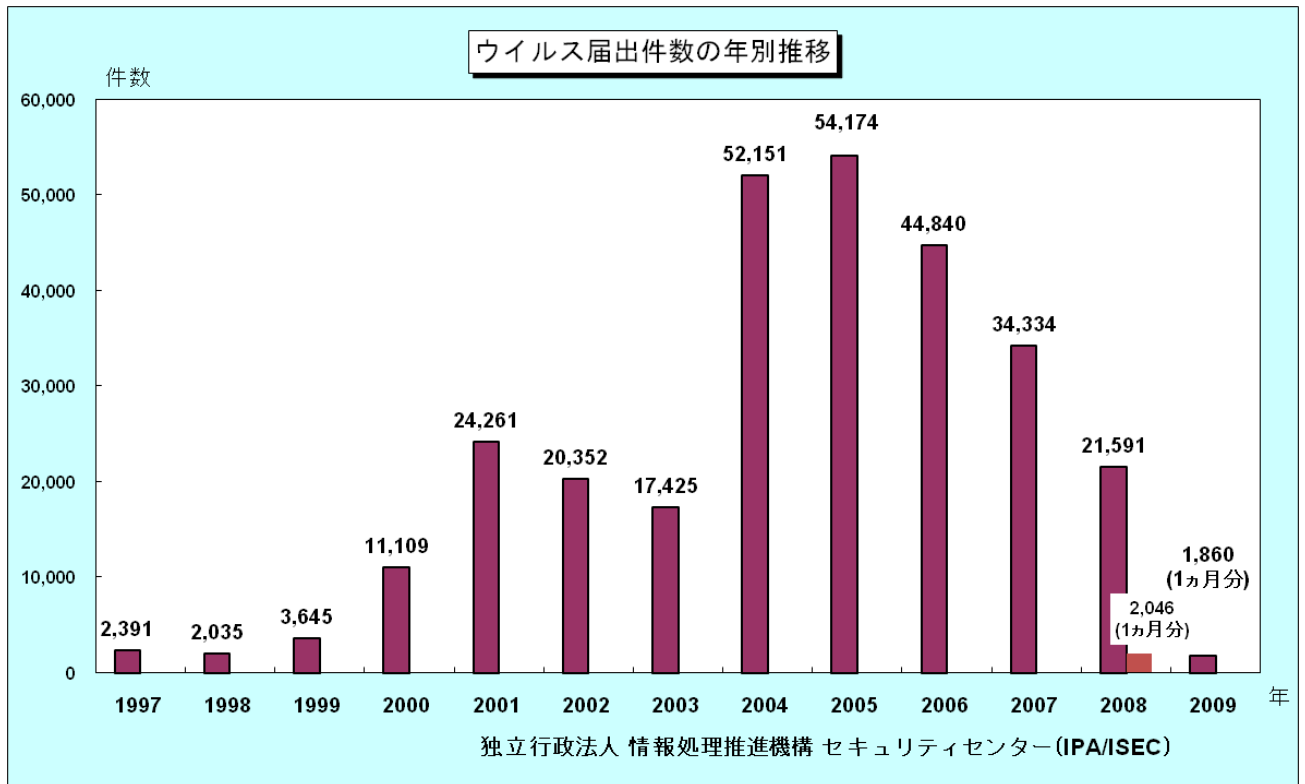
1. ウイルス検出数の月別推移



2. ウイルス届出件数の月別推移



3. ウイルス届出件数の年別推移



4. 1月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 70 種類で、Windows/DOS ウィルス 1,795 件、マクロウイルス及びスクリプトウイルス 65 件でした。

i) Windows

(※)印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	Windows/DOS ウィルス	届出件数
W32/Netsky	400	W32/Areses	1
W32/Mydoom	170	W32/Dizan	1
W32/Bagle	160	W32/Dzan	1
W32/Mytob	133	W32/Expiro	1
W32/Autorun	114	W32/Fujacks	1
W32/Klez	100	W32/IRCbot	1
W32/Virut	98	W32/Knight	1
W32/Mywife	83	W32/Licum	1
W32/Downad	76	W32/MSBlaster	1
W32/Sality	63	W32/Swen	1
W32/Gammima	44	W32/Traxg	1
W32/Saros	44		
W32/Zafi	39		
W32/Lovgate	36	小計	1,795
W32/Mimail	29		
W32/Bugbear	23		
W32/Mumu	23		
W32/Funlove	22		
W32/Stration	15		
W32/Bacterra	11		
W32/Whybo	11		
W32/Dumaru	10		
W32/Rontokbro	9		
W32/Chir	5		
W32/Mabezat	5		
W32/Nuwar	5		
W32/Womble	5		
W32/Allaple	4		
W32/Harakit (※)	4		
W32/Mumawow	4		
W32/Parite	4		
W32/Zhelatin	4		
W32/Fakerecy	3		
W32/Imaut	3		
W32/Joydotto	3		
W32/Magistr	3		
W32/Welchia	3		
Anti-CMOS	2		
W32/Looked	2		
W32/Mabutu	2		
W32/Pinit (※)	2		
W32/Rinbot	2		
W32/Waledac (※)	2		
Cascade	1		
W32/AHKHeap	1		
W32/Almanahe	1		
W32/Antinny	1		

マクロウイルス		届出件数
WM/Cap		2
XF/Sic		2
W97M/Class		1
W97M/Ethan		1
W97M/X97M/P97M/Tristate		1
X97M/Yini		1
XM/Laroux		1
小計		9

スクリプトウイルス		届出件数
VBS/Solow		38
VBS/SST		12
VBS/Redlof		4
VBS/LOVELETTER		1
VBS/Netlog		1
小計		56

ii) Macintosh		
なし		
iii) OSS (OpenSourceSoftware) : Linux・BSD を含む、UNIX		
なし		
iv) 携帯端末		
なし		

備考：件数には亜種の届出を含む

(参考)

Windows/DOS ウィルス

Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。

マクロウイルス

MS-WORD や MS-EXCEL などのマクロ機能を悪用するウイルス。

スクリプトウイルス

機械語への変換作業を省略して実行できるようにした簡易プログラムで記述されたウイルス。

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
JS	JavaScript で記述
XF	MSEXCEL95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)

5. 1月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/Harakit (ハラキット)

このウイルスは、ネットワーク共有や外部記憶媒体を介して感染を拡大します。

感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成し、パソコン起動時に実行されるようにシステムを改変します。また、ネットワーク共有やUSBメモリ等の外部記憶媒体に、自分自身のコピーを作成することで感染を拡大します。

さらに、バックドアの機能を有し、外部から操作される可能性があります。

(2) W32/Pinit (ピニット)

このウイルスは、外部記憶媒体を介して感染を拡大します。

感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成し、パソコン起動時に実行されるようにシステムを改変します。また、USBメモリ等の外部記憶媒体に自分自身のコピーを作成することで感染を拡大します。

(3) W32/Waledac (ワレダック)

このウイルスは、電子メールを介して感染を拡大します。

感染すると、自分自身のコピーをパソコン内に作成し、パソコン起動時に実行されるようにシステムを改変します。また、パソコン内を検索し、電子メールアドレスを収集します。取得できたアドレスに対して、ウイルスが掲載されたリンク先を含むメールを送信します。

さらに、バックドアの機能を有し、外部から操作される可能性があります。

6. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約94%を占めています。

届出者	届出件数					
	2009年1月		2008年12月(前月)		2008年1月(前年同月)	
一般法人ユーザ	1,746	93.9%	1,676	93.4%	1,901	92.9%
個人ユーザ	9	0.5%	9	0.5%	5	0.2%
教育機関	105	5.6%	110	6.1%	140	6.8%
合計	1,860		1,795		2,046	

7. 感染(発見)経路別件数

メールにより感染(発見)したケースが最も多く、届出件数の約95%を占めています。

感染(発見)経路	届出件数					
	2009年1月		2008年12月(前月)		2008年1月(前年同月)	
メール	1,758	94.5%	1,779	99.1%	1,984	97.0%
ダウンロード(※)	2	0.1%	0	0.0%	2	0.1%
外部からの媒体	3	0.2%	2	0.1%	5	0.2%
ネットワーク	94	5.1%	14	0.8%	37	1.8%
不明・その他	3	0.2%	0	0.0%	18	0.9%
合計	1,860		1,795		2,046	

(※)ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感染台数	届出件数					
	2009年1月		2008年12月(前月)		2008年1月(前年同月)	
0台	1,857	99.8%	1,793	99.9%	2,023	98.9%
1台	1	0.1%	1	0.1%	9	0.4%
2台以上 5台未満	1	0.1%	0	0.0%	6	0.3%
5台以上 10台未満	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%
10台以上 20台未満	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%
20台以上 50台未満	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
50台以上	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
合計	1,860		1,795		2,046	

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であり、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

○コンピュータウイルス対策基準

- ・ 通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・ 通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・ 通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・ 通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・ 経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

■お問い合わせ先

IPA セキュリティセンター 花村/加賀谷/大浦

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518

E-mail: isec-info@ipa.go.jp